



みんなで守る久米島の海

4月11日(土)、久米島町観光協会主催の「ハテの浜クリーンアップ」が開催されました。当日は島外や海外からも多くの参加者が集まり、国際色豊かな雰囲気の中、約80名の参加者が泊フィッシャリーナに集合しました。



気温が高い日でしたが、参加者たちはハテの浜にて約1時間程度、漂着ごみ拾いを行いました。短時間ではありましたが、かなりの量の漂着ごみが回収され、その後、久米島ホテルの会の佐藤会長に分別方法のご指導をいただき、プラスチック、漁具、ペットボトルなど、細かく丁寧に分別を行いました。久米島の海を守るために、これからも私たち一人ひとりができることを続けていきましょう。

期待を乗せて高速船「つむぎ」就航



5月1日(金)、那覇-久米島間を結ぶ、久米島オーシャンジェット株式会社の高速船『つむぎ』が新規就航し、兼城港フェリーターミナルにて新規就航歓迎セレモニーが行われました。島民の皆さまをはじめ、約200名が集まり、新たな航路の就航を祝いました。

下地代表取締役会長からは、「この事業を通じて久米島を元気にしたい。高速船で来島し、帰りは飛行機を利用するなど、多様な移動手段の組み合わせを提供したい。飛行機とフェリーとの組み合わせにより、より多くの方に久米島を訪れていただきたい。」と述べられました。新たなアクセス手段の誕生により、観光客15万人という目標達成に向けて、さらなる弾みとなることが期待されます。

さとうきび生産量 58,706トン!直近15年で最高記録を更新 ～さらなる飛躍へ、次期目標は「60,000トン越え」～

4月23日にイーフ情報プラザにて「製糖終了式・慰労会」が盛大に行われました。

会場には多くのさとうきび関係者が集い、互いの労をねぎらいました。会の中では、桃原秀雄 久米島町長、および玉城安雄 久米島町議会議長より、生産農家および作業に従事した皆さまへの深い敬意を込めたご挨拶をいただきました。今期の素晴らしい勢いをそのままに、次年度はさらなる高み、「生産量60,000トン」の突破を目指しましょう。



NTT株式会社及び学校法人早稲田大学との包括的連携に関する協定



令和8年4月6日(月)、久米島町はNTT株式会社及び学校法人早稲田大学と島嶼部における社会課題解決およびカーボンニュートラル社会の実現を目指し、教育活動、研究活動などに関し、互いに支援・協力することに合意し、包括的連携協定を締結しました。

連携業務として(1) 共同研究等研究開発、(2) 研究・教育とそれにかかる人材交流と育成、(3) イベント開催に関する相互協力などに取り組んでまいります。